

まいすてっぷ児童発達支援ご利用保護者様による評価  
(令和4年2月実施) (32人中31人回答 回答率97%)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	現状と対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	27	2	0	2	コロナ関係で中がわからないです。	・引き続きコロナ対策にて、療育時の密を避けるため、お子様のみお預かりしております。1時間区切りでの活動のため、同じ時間帯にはお子様2人とスタッフしかおりません。十分なスペースの中活動しております。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	28	3	0	0		・お子様に関わる職員は全て、保育や教育、ことばに関する国家資格を持っています。人員配置は、基本人員+2人加配の体制を維持しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	23	4	0	4		・お子様お一人お一人の特性に合わせ、毎時間環境設定をしています。集中が難しいお子様の時は、最初から周囲の物数を少なくしたり、課題の順番や部屋の移動は視覚の手がかりを用いて、不要な失敗体験をされないよう配慮しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	27	1	0	3		・感染対策は随時熊本県の指示に従い、感染状況に合わせて随時対応しています。活動場所は2棟で毎時、それぞれ2人のお子様に合わせて、必要な空間を準備します。
計		105	10	0	9		
適切 な支 援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	31	0	0	0		・個別支援計画書には、児童発達支援ガイドラインに沿って提供すべき発達支援、家庭支援、地域支援について記載しております。当事業所の特色として、標準化された発達検査、言語検査、運動・感覚の発達を把握するチェックリスト等を用いて、お子様の全ての発達状況の把握に努めています。幼児期の発達の特徴として、話しことばの発達は氷山の一角でしかなく、水面下にさまざまな要因が複雑に絡み、それらが総合的に発達することで、獲得したことばを適切に用いたコミュニケーションの成立に至ります。なので、必ず運動や感覚情報処理、視覚・聴覚認知促進などを含むプログラムを準備しております。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	26	1	0	4		・担当者によるヒアリングやお子様の課題遂行の様子を評価し、児童発達支援管理責任者を中心に多職種チームで療育を行なっています。必要に応じ個別支援計画を更新しながら進めています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	30	1	0	0		・活動プログラムは、個々の発達の状況に合わせて少しずつレベルアップしていきます。 ・お子様本人が達成感を得られるよう、課題は随時工夫をしています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	27	2	0	2		・ほとんどのお子様が他の集団に所属されていません。当事業所は多くても週1回の御利用しかできませんので、その中での交流は難しいです。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	14	4	4	9	私がいらないだけかもです。	
計		128	8	4	15		
保護 者へ の説 明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	30	1	0	0		・ご利用開始時や、事業の変更時には必ず説明いたします。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	30	1	0	0		・当事業所の個別支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を記載しています。それを元にお子様の現時点での課題について保護者様に説明させていただいています。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。	22	5	3	1	・もう少し具体的なことで、家庭でできることを指導してほしい。相談をしたり、話を聞いてもらったりはよくあります。	・コロナが蔓延する以前は、宇土市民会館の一室を会場に、ペアレントトレーニング「CAREプログラム」、その他学習会等の開催を定期的におこなっておりました。インストラクターを他県から招く関係で、本年度の実施はできていません。保護者さまだけでなく、スタッフの学習の機会でもあるため、来年度こそは感染状況の合間を縫ってぜひ再開したいです。お子様の療育後の担当者の説明で、不足や不明な点がありましたら、伊藤、濱下、岩本宛にメールをいただけるとありがたいです。担当者も交え協議の上、ご回答をお送りいたします。

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	現状と対応
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	29	2	0	0		・ コロナ禍、ご利用毎の保護者さまとのやりとりにご不便をおかけしています。駐車場にて保護者さまと情報共有をさせていただいていますが、時間には限りがあるため、不足の際はメールをいただくと助かります。
	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	27	2	1	1	⑫と同様	・ まいすてっふKids合併後、サテライト事業所のお子様を中心に、室内の空き時間に再評価の面談を進めた経緯があり、感染蔓延による入室制限強化の影響もあって、うまく進められなかったことをお詫びいたします。
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	4	6	5	15	・ コロナ禍で接触する機会がないため一度も開催はない。	・ 本来ならば保護者さん方が集う部屋も入室制限が続いています。十分に安全確保ができる時期に入りましたら、以前のように、保護者様同士で情報交換ができる状態にしたいと考えています。
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	25	1	0	5	定期的な保護者面談など検討していただくと助かります。	・ 保護者様からのご相談、申し入れに対し、関わるスタッフ全員で取り組む体制を準備しております。室内での相談時間には限りがありますが、コロナ禍安全確保をしながら随時行なっております。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	31	0	0	0		・ コロナの感染状況が変わるたびに様々なご連絡をメールを主体にさせていただきました。その返信にてお子様やご家族の状況を知るきっかけにもなっています。
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	28	1	0	2		・ 今年度は後半、まいすてっふ新聞の定期発行を行いました。また、公式ラインも活用？とまで行くかどうかわかりませんが、情報発信をさせていただきました。今回は自己評価も同封させていただきます。
	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	30	0	0	1		・ 個人情報の取り扱いはスタッフ全員で周知し、漏えいされることのないよう管理しています。
計		256	19	9	25		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	3	0	4		・ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しておりますが、本年度、室内にてご説明できる機会が少なく、周知徹底できていなかったように思います。今後努力していきたいと思っております。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	13	6	1	11		・ お子様一人一人に、災害時の対応方法を視覚化し、療育時間の中で、ソーシャルスキルトレーニングとして学習したり、お子様数人にご協力いただき、避難訓練をいたしました。
計		37	9	1	15		
満足度	子どもは通所を楽しみにしているか。	31	0	0	0	本人が楽しそうにしている。	・ より内容充実し、お子様にも楽しんでもらえるよう努力いたします。
	事業所の支援に満足しているか。	31	0	0	0	・ いつもお世話になっております。子どもの様子を伝えたり、ご相談させてもらったりした時に、アドバイス等下さるので、頼りにしております。・ 本人も楽しく通うことができ、成長も感じています。感謝しています。	・ 私たちスタッフも、みなさんからいただくエネルギーを糧に活動しています。これからも、さらに充実したプログラムを提供できるよう努力したいと思います。
計		62	0	0	0		

## 大項目ごとの割合 (まいすてっぷ児童発達支援)

